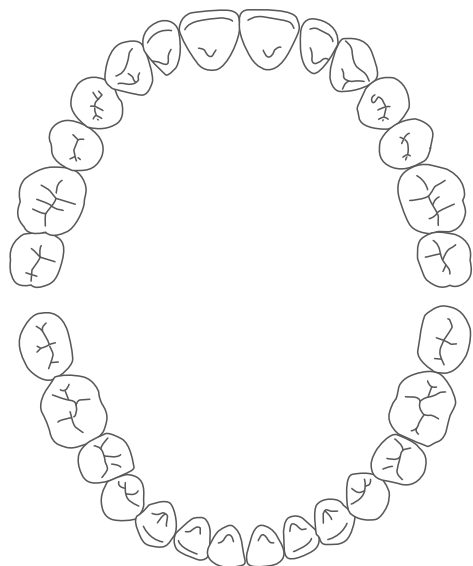


ブラッシングレシピ

お口の中をチェックしましょう

年 月 日



コメント

.....

.....

.....

.....

.....

.....

✓ おすすめのサイズは…

SSS SS S M L



歯科医院取扱品

ガム・プロズ 歯間ブラシL字型

POINT
1

独自開発の三角毛(抗菌コートフィラメント)

エッジでプラークをかきとるように落とすので効果的に歯間部を清掃できます。

独自開発の三角毛



POINT
2

臼歯部への操作性

ネックがL字型になっているので臼歯部の舌側・頬側どちらでも無理なくアプローチできます。

POINT
3

耐久性に優れたパワー合金ワイヤーを採用

汎用のワイヤーに比べて耐久性に優れています。



サイズ	SSS(1)	SS(2)	S(3)	M(4)	L(5)
ハンドルカラー	ホワイト	ブルー	イエロー	ピンク	グリーン
最小通過径(mmφ)	~0.8	0.8~1.0	1.0~1.2	1.2~1.5	1.5~1.8

※サイズ表記は全日本ブラシ工業協同組合による通過径の自主規格に基づくものです

歯科医師・歯科衛生士の指導のもとで使用ください。

当医院の歯科医師・歯科衛生士にご相談ください。

®登録商標。GUM は登録商標です。

サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1
お客様相談室 ☎0120-008241

2019.4

SUNSTAR

自由歯とたたかう
GUM

ガム・プロズ 歯間ブラシL字型

いつものブラッシングに加えて
歯間部を“集中ケア”



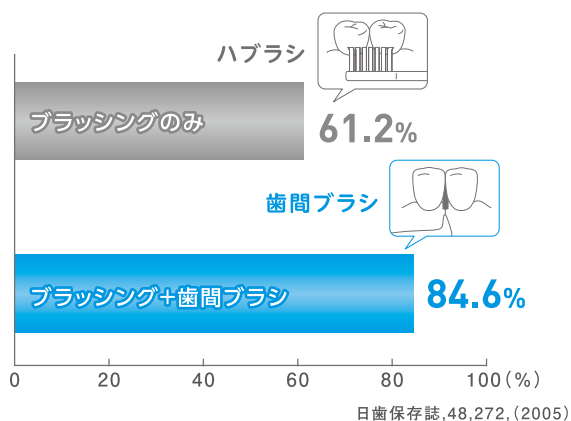
ORAL BOOK

プラーク(歯垢)は 歯間部にたまりやすい

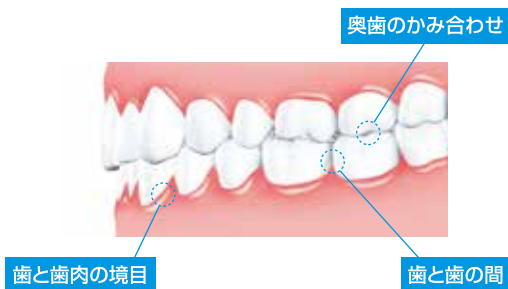
ハブラシでみがくだけでは歯と歯の間のプラーク(歯垢)を落としきることはできません。ハブラシと歯間ブラシの併用が、歯と歯の間のプラーク(歯垢)除去には効果的です。



歯間部プラーク(歯垢)の除去率

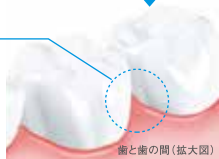


プラーク(歯垢)のたまりやすい部位



POINT

特に歯と歯の間は狭くてプラーク(歯垢)がたまりやすく、そのうえハブラシではみがきにくい場所。歯間ブラシで、正しくしっかりみがきましょう。



歯間ブラシの使い方

- ・歯間部のサイズにあった大きさの歯間ブラシ(SSS~Lサイズ)を歯科医院で選びましょう。(SSSが入りにくい場合はデンタルフロスをご使用ください。)
- ・歯間ブラシL字型はワイヤーを曲げずにご使用ください。

STEP 1

歯間部のサイズにあった大きさのブラシを選びます。



STEP 2

歯肉を傷つけないように注意してゆっくりと歯と歯の間に挿入します。



STEP 3

数回往復運動をして、プラーク(歯垢)を除去します。



STEP 4

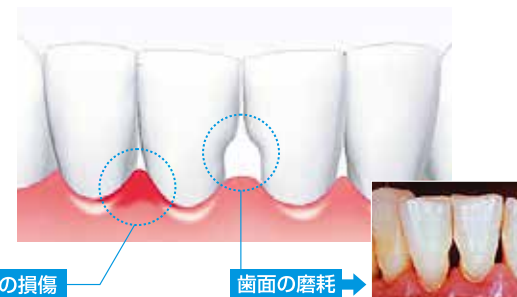
使い終わったら水洗いして乾燥させます。



使用上のご注意

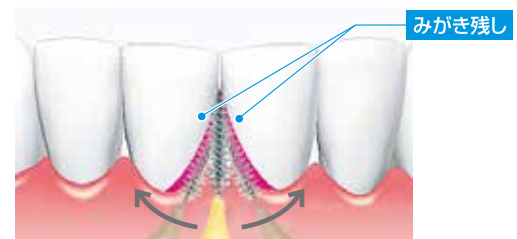
歯肉の損傷・歯面の磨耗

ブラッシング時に力を入れすぎて歯肉を損傷したり、ブラシのサイズが合っていないかたたりすると歯面を磨耗することがあるので、注意が必要です。歯間ブラシのサイズ選択や使用にあたっては、必ず歯科医師・歯科衛生士の指導を受けて、正しく使用しましょう。



歯面に当たっていない例

歯と歯の間が広い場合は、ブラシに多少角度をつけてみがくようにしてください。



こんなところも効果的!

- ・欠損歯の間
- ・ブリッジ装置の周辺部
- ・矯正装置のワイヤーの下

歯や歯肉を傷つけないように注意しましょう。



歯間ブラシは歯科医師・歯科衛生士の指導のもとご使用ください。